

2015

9月号
No.245

潮流



大津島(平成27年8月1日現在)
人口 311人(男132人 女179人)
高齢化率 76.5%



JAPAN 2015

和 23rd WORLD SCOUT JAMBOREE SCOUT MONDIAL
第23回世界スカウトジャンボリー



世界スカウトジャンボリーは、4年に1度開かれる世界スカウト機構主催のスカウトの大会です。
23回世界スカウトジャンボリー〔2015年7月28日(火)～8月8日(土)〕には、世界161の国と地域から約3万人の青少年が集まり、約2週間にわたって、キャンプをしながら「世界の仲間」と体験を共有しました。



八月三日。山口市阿知須・きさら浜で開かれていた「第二十三回 世界スカウトジャンボリー」の皆さんが、来島しました。朝十時に、日本、タイ、スウェーデン、イタリアから、計50名が来て、十四時まで島で過ごしました。
初めに、大津島小学校で、受け入れセレモニーを行い、馬場から刈尾までのウォーキングを行いました。途中、天浦の巨樹を眺め、お宮で冷たいお茶の接待を頂きました。三十度を超える猛暑の中、およそ四キロの距離を歩いていきました。
刈尾浜に到着した頃には、参加者全員がヘトヘトでしたが、歩き終えた達成感と、冷えたスイカを、美味いと思う気持ちは、言葉の壁を超え、万国共通だったことが、とても印象的だった一日でした。
大友 翔太

わっと ゆあ ねーむ? (あんた、なんちゅー名前か?)
～松本良&大友。英語をうまく話せない2人が、突撃インタビューをしてみました～

大津島の感想は?

- スウェーデンより暑い! 向こうの平均気温は、20度～25度で、湿度が日本より低いです。景色が美しかった。人も優しく、スイカが美味しかった。
- 愛知県から来ました。暑かったけど、楽しかった。小学校でやったゲームが楽しかった。
- タイから来ました。暑さは、タイの方が暑いですが、ウォーキング大変でした。
- 日本とイタリアの気候は、大体同じくらいかな。大津島の海は、とても美しかった。日本に来てからは、キャンプをしながら、刺身、寿司、ラーメンなど、日本食も食べたんだ。

皆さんご協力ありがとうございました。

大津島の人々 (12)



石田 輝正 (いしだ てるまさ)さん

近江出身。昭和17年生まれ。73歳。

Q. 厳島神社の参道は、ご夫妻で石を運び整地されたり、歩道に花を植えたり、すごく素敵ですね。

A. 十数年前は、ええやっとな道がわかるくらいじゃった。最初は、イギでイギで困りよった。ノコも使いよったし。何年も何回もやりよったら、人間の方が勝つんじやのう、絶えてしまった。

Q. 今では？

A. 二五m刃の間隔で、一歩一歩じわじわ歩いて草を刈れるよ。伸びすぎたら、どこまで刈ったかわかんことなるから、秋祭りまでに、もう一回くらいかと思ひちよる。

Q. きっかけは？

A. あねーしてこねーしてちゅうのはないね。とこかく動

くことができるとちゅうのが、こねーな素晴らしいことはない。動くちゅうことの延長が、草刈りじゃったり、ウオーキングじゃったり。ケガも病気もならんよつこの。健康ちゅうことになる女房が食事やら、気にしてくれちよるじやろつけど。

Q. 昔からよく動いてた？

A. スポーツは好きじゃった。ソフトボールやらボーリングやったり。泳ぐのは子供の頃から泳ぎよった。

Q. 運動会は？

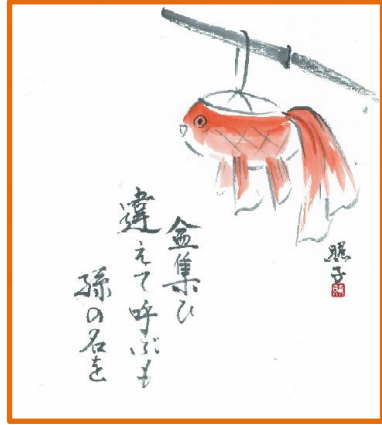
A. 走るちゅうのは全くダメじゃった。三着くらいじゃから、せいがないの。

弁当が嬉しゅうてから。日頃はイモやおかゆじゃけ、チクワやらおにぎりやらじゃったから。

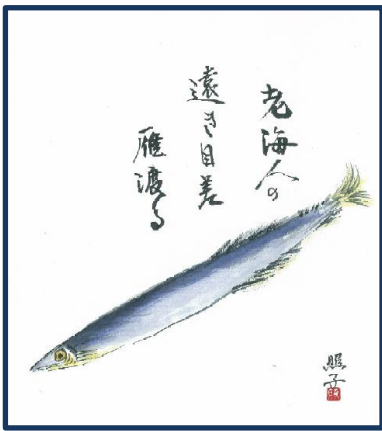
Q. 一番の思い出は？

A. 「大津小学校運動会の歌」ちゅうのがあって、歌詞が素晴らしい。曲も頭の中に残ちよる。昭和二三年から二九年くらいかのう。その歌を思い浮かべると、あの頃の海の色、空気の匂い、山のざわめき等、いっぺんによみがえるの。

(聞き手・文 六郎万淳一)



今年も子や孫が帰省しました。成長した孫達の笑顔に疲れも吹っ飛んでしまいました。「一年に一度でも家族が集まれば、最近目立つ粗暴で殺伐とした事件も起きないだろう」と思うのは私だけでしょうか？
秋刀魚 (さんま)



秋の代表的な食用魚で脂肪に富んだ塩焼きは美味です。最近の外で煙の中でうちわをたたく姿は見かけませんね。

自分にとっての アイランドカップ

～若潮の会通信～



平成27年8月15日
小学校体育館 (馬島)

文＝安達 俊彦

近くて、遠きは大津島、中々帰省することもない。8月の行事が、名付けて「アイランドカップ」唯一、後輩や先輩達と逢えるひと時である。先輩達が築き上げてきた伝統の大津島中バレーボール部、回数を重ねるごとに盛大に、アイランド委員になり、市民に知って貰うため新聞やテレビ局にアイランドカップを紹介してもらいました。その頃は、中学校にバレー部はあったのだが、今は生徒がいない状態。非常に残念である。

一時期アイランドカップが消滅。去年、アイランドカップが復活、また8月に大津島に帰る楽しみが出来た。自分にとってのアイランドカップは、白いボール一個で老若男女問わず、一日中過ごせる時間が最高である。その後の打ち上げも酒飲み放題、カンパイ！！これからは非力ではあるが何とか島の発展とOB会を盛り上げていきたいものです。ちなみに、この記事を書く話が来て2週間眠れない日々でした。永久に不滅です。‘アイランドカップ’。



「かたがええ」

文＝松本 千恵子

写真は葛原神社に残るともがい

かたがええちゆうのは島では生きかたや仕事や見た目を褒める言葉。

かたがええちゆう言葉で私が真っ先に思い出すのはソウラアエエのともがいさあ。

幼かったから謂われも何にも知らんじやったが、白い服を着たこぎ手の中に一人だけ一段高く桶の上に立ち、真っ赤な肌襦袢に長い襷をかけ、五色の凡天をもつて舞い踊る。後ろの御座船を漕いで揺れるソウラアエエ伝馬の上で巧みに凡天を振りながら時にはイナバウアーのように体を反らせ、海に落ちはすまいかというほど激しく舞い踊る様は、子供心

になんとかたがええように写ったことか。

あれからもうずいぶん経つ。チャンリチャンリやソーエエヤア、ソーラアエエヨヤサノサアの掛け声もやもすると忘れてしまえそう。

じゃが、このところソウラアエエの話を知ると「ソウラアエエのね」と声を掛けると、みんなパツと明るい顔になって、時には「ソウラアエエをやるんかね」と聞いて来る人もある。

そうならええんじやがねえと答えながら、私以上にみんなソウラアエエを愛していたんだと思う秋空の下。

「ホーランエー（ソウラアエエ）」について

記録 末兼正純

ホーランエーとは、黒髪島にある厳島神社の、船神事の特徴とした、夏祭りの呼称である。神社の名は、平清盛の宮島厳島神社造営のとき、黒髪島もその候補地であったという言い伝えに因りがあると思われる。

黒髪島は宮島と同じく古くから神の島とされ、人が住むことはおろか一木一草に至るまで取捨を禁じられていた。採石が許されたのは明治になってからである。

かつては神社の辺りはきれいな砂浜であり、ホーランエーのときは数多くの露店が並び、大変な賑わいであった。福川・富田・戸田などから多数の舟が繰り出して来たし、大津島からも大勢の人たちが出掛け、この日は学校も半休となった。

祭は、十七夜、旧暦の六月一七日に行われた。平安貴族の船遊びに端を発する船神事で有名な、宮島の管弦祭と同じ日である。

祭の日、御幣を戴き幔幕を廻らせた御座船とこれを曳く舟は、午後一時に馬島を出発してその沖を三周して黒髪島へ向かう。

曳き舟は、片舷六本計一二本の櫂と後端部に舵取りの艫櫂（ともがい）を備えた専用の舟であり、櫂の数など管弦祭の漕伝馬（こぎてんま）と同じである。

普段は陸揚げして馬島にあった藁葺きの船小屋に納められていた。

今は葛原神社に艫櫂が一本残っているだけである。

艫櫂はリーダーであつて年長者が務め、ホーランエーは艫櫂の操船の指示とそれに応える漕ぎ手の掛け合いの歌のことである。（部分的ではあるが石丸一磨さんが歌つて下さった）

曳き舟に乗った馬島の若い衆は揃いの衣装をまとい、一周ごとにそれを脱ぎ替え、艫櫂はお神楽を舞った。

厳島神社の沖でも三周し、帰って来ると天ヶ浦の沖でまた三周、陸に上がると深夜まで盆踊りとなった。

管弦祭との類似性や、馬島の盆踊りが平家踊りであることなどを思い合わせると、平家の影が濃い行事であつたと思う。

酒に酔つてのことであるから、戦後だけでも落水死亡事故が二度あつた。加えて、黒髪島は石材工場が主となつて一般の人が寄り付き行き難くなったことや、若い衆の減少などがあつて、昭和四〇年代半ばを最後にホーランエーは行われなくなった。

今は総本社の山崎八幡宮から宮司が出向き、黒髪石材の従業員だけで祭事が行われている。

（以上は、昭和四四年頃まで最後の一〇年ほど艫櫂を務めた石丸一磨さん（昭和九年生）、及び山崎八幡宮の宮司さんから話を聞かせて戴いた。）

「自尊感情の大切さ」



大津島小学校校長
話＝海田 和彦

さまざまな調査によると、何をやっても自分はダメな人間だとか、自分のことがあまり好きではないといった自己肯定感の乏しい子ども達が増えている。

学校を卒業しても夢中になることが見つからず、ニートとかフリーターといった働く意欲の少ない若者の出現や自己本位で集団や社会のルールを守れない子ども達、また人とかかわりに不得手な子ども達も達の状態は、まさに豊かさのなかの貧しさを象徴しているかのようである。

一人ひとりに自分のよさや個性、持ち味を自覚させ、周りの大人が嘘ではなく本気になってほめ、自分は価値のある人間であるといった自信や誇り、アイデンティティを培っていくことは今日きわめて重要な課題だと感じている。

学校においては、小さな目標であってもおろそかにせず、成功体験を出来るだけ多く積み重ねさせながら自尊感情を高めていきたい。

～事務局からのお知らせ～

大津島地区社会福祉協議会よりお礼
平成27年度善意銀行へのご寄付をありがとうございます。

●預託者 高松 恒 様
亡父 高松 工 様の香典返しとして
金10万円 (市社協 20,000円 大津島社協 80,000円)

敬老会のご案内！

日時 平成27年9月15日(火)
10:50～13:30 記念式典・懇親会
会場 (本浦) 海の郷体育館

大運動会のご案内！

日時 平成27年10月4日(日)
9:30～14:30 (予定)
会場 (馬島) 大津島小学校 運動場

文化祭のご案内！

日時 平成27年11月1日(日)
10:00～15:00 (予定)
会場 (馬島) 大津島小学校 体育館
内容 田布施農工の吹奏楽部が来島します。
♪男はつらいよ ♪明日があるさ 等

大津島の最新情報 更新中!!
<http://shunan-inaka.jugem.jp/>

元消防分団長 安達 暁(あだち さとる)さん表彰

消防庁長官 坂本森男より
永年勤続功労賞を授与されました。



消防団として30年余り、
うち6年は分団長として地域の
防災にご尽力くださいました。
今後ますますのご活躍を祈念しています。

中須北「棚田清流の会」交流会のご案内！

地域、団体、年齢を超えて、みんなで
お酒とバーベキューをしながら、
楽しい時間を過ごしましょう！

日にち 平成27年9月6日(日)
10:00～15:00 (予定)
参加費 1,000円
会場 大津島公園 (馬島)
申込み 9月3日までに支所にご連絡ください。

棚田清流の会とは？

棚田の保全に取り組んでいます。
親子農業体験交流、棚田オーナー制度、
夏のビアガーデン、囲碁大会など
住民相互の交流を行っています。

移動図書館<やまびこ号 Jr.>

9月25日(金) 10月16日(金)
●馬島巡航待合所 11:30～12:00
●刈尾巡航待合所 12:20～12:50

次回発行日

平成27年11月1日—第246号